



2019.11.5

No. 310

MONTHLY

れんごう

北海道

http://www.rengo-hokkaido.gr.jp

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む) 1996年3月4日第三種郵便物認可

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 藤盛敏弘  
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろウビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 連合北海道 杉山新体制が船出 第32回定期大会開催

連合北海道は10月29日、札幌市内で第32回定期大会を開催した。

大会では2020-21年度運動方針を確認し、新役員の選出が行われ、新会長に杉山元(情報労連)、事務局長に藤盛敏弘(自治労)の体制が確立された。

大会は、直前に発生した台風19号などによる被災者への黙祷で始まり、出村会長が執行部を代表して挨拶を行った。

挨拶の中で政治について「立憲民主党と国民民主党は政権構想を改めて練り直し、将来の生活不安に対してもっと踏み込んだ政策メッセージを打ち出すことが必要」と両党へ期待を込めてお願いするとともに、次期衆議院選挙については「国民を愚弄している安倍政権を認める訳にはいきません。私達が主権者であることを、働くもの・生活者のための政治を取り戻すためにお互い奮闘することを改めて確認しようではありませんか」と参加者に選挙で戦う気持ちを訴えた。

また、「私達は顔が見える運動を目指しています。社会に信頼される連合運動をさらに目指さなければなりません。どうか皆さん、決して内向きにならず、職場、地域に頼



られる連合運動を目指していこうではありませんか」と、連合運動の原点を示して挨拶を終えた。

大会は、向こう2年間の運動方針の他、「2019春季生活闘争のまとめと2020春季生活闘争基本構想」、「第25回参議院選挙闘争のまとめ」が提案され、原案どおり確認された。

経過報告及び議案の討論では、6産別2地協からベルコ闘争をはじめ憲法問題、病院の統廃合問題、産別と地域運動の連携、選挙課題等々多方面にわたって運動を

### 2020~2021年度(第16期)連合北海道役員

第32回定期大会

(五十音順)

■会長	杉山元 (情報労連/専従)
■会長代行	信岡聡 (北教組/非専従)
■副会長	遠藤唯充 (電力総連/非専従)
	大柄恵司郎 (基幹労連/非専従)
	太田聡 (情報労連/非専従)
	紺野則仁 (運輸労連/非専従)
	佐藤昌一 (UAゼンセン/非専従)
	須間等 (JP労組/非専従)
	高倉司 (国公連合/非専従)
	千葉利裕 (自治労/非専従)
■事務局長	政治センター事務局長兼任 藤盛敏弘 (自治労/専従)
■副事務局長	総務財政局長兼任 荒木敏安 (電力総連/専従)
	男女平等局長兼任 齊藤勉 (UAゼンセン/専従)

■執行委員	組織対策局長兼非正規労働センター局長 佐々木直人 (自治労/専従)
	総合政策局長 坪田伸一 (事務局/専従)
	道民運動局長 皆川洋仁 (事務局/専従)
	組織労働局長 山田新吾 (運輸労連/専従)
(女性枠)	女性委員会委員長 金子ユリ (情報労連/非専従)
(女性枠)	女性委員会事務局長 高階紀子 (北教組/非専従)
(青年枠)	青年委員会委員長 佐藤岳瑠 (自治労/非専従)
■会計監査	石田貴浩 (電機連合)
	杉浦一秀 (交通労連)
	外山保浩 (森林労連)
	増田勝次郎 (紙パ連合)
	松坂武敏 (UAゼンセン)



補強する意見が出された。

運動方針、春季生活闘争基本構想、参院選のまとめの議案は執行部提案どおり確認されたが、出された貴重な意見を組み入れて今後の運動を進めていく。

また、今年度は役員改選時で、杉山新会長、藤盛新事務局長による新役員体制が選出された。

杉山新会長は、新執行部を代表して行った就任挨拶で

「社会の不条理と対峙し、道民をはじめ次代を担う子どもや若者が期待と安心の中で働き暮らせる社会を作っていく」「安倍政権の暴走をストップさせることを最大の目標に、戦略を持って実現に取り組んでいく」と決意を述べた。

課題山積で取り巻く状況は厳しいが、道民の命と暮らしを守り、労働環境を改善するため、連合北海道は新体制のもと、組織の総力を挙げて運動を進めていく。

## 「賃金明細を確認してください」 「10/3から最低賃金は861円」周知街宣を実施

連合北海道と連合北海道石狩地協は10月25日、札幌駅西口で最低賃金の周知街頭宣伝を行った。マイクで「最低賃金は3日から861円に改定されています」「給料明細を確認して」等と市民に呼びかけると共に、連合組合員約20名が市民にチラシを手渡し周知を図った。

宣伝行動は改定日前日の2日にも実施しているが、引き上げ後、最初の給料日を迎えると思われるタイミングで再度実施した。

連合北海道の齊藤副事務局長は「給料明細を確認して



861円を下回っていただければ使用者に請求しましょう」と呼びかけると共に、月給制や日給制についても「給与を1時間あたりの単価に割り返して確認して下さい」等とアドバイスした。また、石狩地協の光崎副事務局長は「消費税も上がり、一般生活者・消費者は厳しい冬を迎える。連合は改定された最低賃金の周知と履行確保、法令遵守、政府による中小企業支援策の拡充を求めていく。働く市民の皆さんの力を連合に寄せていただきたい」と、連合の取り組みに理解を求めた他、「疑問があれば連合へ相談を」と市民に呼びかけた。

### ■特定最賃審議も結審

特定最賃4業種(鉄鋼・電機・乳糖・船舶)の改定審議は、9月下旬から審議が進められていたが、4業種全てで結審した。鉄鋼が昨年比19円引き上げの967円、電機が26円引き上げの894円、船舶は21円引き上げの887円で結審し、それぞれ12月1日発効予定。乳糖は21円引き上げの892円で12月6日発効予定となった。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=4295>

## 地域活性化に向けて横のつながりを大切に 「連合北海道地域活性化フォーラム in 日胆」を開催

連合北海道は10月22日、地域振興策などを考える「地域活性化フォーラム in 日胆」を室蘭市で開催(胆振地協、日高地協共催)した。フォーラムでは「鉄のまち室蘭! 希望の灯をふたたび〜働き方改革から見える、もの・ひと・まち〜」をテーマに講演とパネルディスカッションが行われた。

地域活性化フォーラムは地域の活性化には労働団体のみならず、行政や経済界、住民、NPOを含め、あらゆる利害関係者が参画して対話し、連携することが必要と考え、2015年の十勝(音更町)を皮切りに道北(旭川市)、道南(函館市)、道東(釧路市)で実施しており、今回で5回目の開催。

主催者の連合北海道・出村会長は、地域活性化策につ

いて「地元で働く場がなければ、地域が活性化しない、地域経済が活性化しなければ働く場も生まれない」と指摘し、「産・学・官、金融機関、マスコミ、私たち労働組合も含めて各団体の考えを共有すると共に、暮らしやすい地域社会、働きやすい職場環境の実現に向けて、どのような連携や取り組みができるのか議論することが大切だ」と挨拶。また、来賓の青山室蘭市長は「現在の担い手不足の背景には人口減少がある」として、「本日のフォーラムで皆さんの考えを聞き、地域の発展、安心できる地域の実現に向けて、皆さんと共に考えていきたい」と期待を述べた。

「働くことを軸とする安心社会の実現に向けて」と題して講演した連合本部の相原事務局長は、日本が抱える



人口減少や高齢化社会に対する連合の役割と課題、一方で世界規模で加速する人口増や持続可能な開発目標(SDGs)への対応について説明。人口減少が日本を衰退させるとの考えを改め、「ギヤチェンジしなければならない。人口減少を乗り越えるパワーはまだある。働き方も改め、職場から社会を変えるために、働く仲間一人ひとりが行動することが重要」と、地域で対話する必要性を訴えた。

パネルディスカッションは、北海道新聞社室蘭支社の村上支社長をコーディネーターとして、北海道胆振総合振興局の横山産業振興部長、室蘭商工会議所の山田専務理事、むろらん100年建造物保存活用会の村田代表理事の3氏をパネリストに、地域産業や人材育成、まちづくりと観光振興等の現状や課題について意見を交わした。観光振興について横山産業振興部長は「地元でプライドを持つことが魅力の発信につながる」と訴え、村田代表理事は「チャレンジしないことはリスクだ」と述べた上で、「デジタル技術をうまく活用する街が生き残っていける」と強調した。



また、山田専務理事は、人材の確保・育成は常に経営課題になっているとして、「若者や活動的なシニア、女性の定着率を高める施策を地域一体となって進める必要がある」と述べた。

<この記事のアドレス>

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=4302>

## 10年目の食と環境まつり 食・みどり・水を守る道南地区労農市民会議

3日前までは台風の影響が懸念された10月5日、前日までの雨が嘘の様に晴れ渡った秋空の下、函館市・旧シーポートプラザ前広場において「第10回食と環境まつり」が開催され、組合員・家族・退職者のみならず、前年にも劣らない多くの市民で賑わいを見せた。

今年で10年目を迎える大きな節目での取り組みでもあり、地域に顔の見える活動・市民と共に創る運動の一環としての更なる拡大や、労農提携の強化を基本とした食の安心・安全の浸透、豊富な道南食材の地産・地消と併せ、身近な環境課題から考え合える素材の提供を課題として、徐々にではあれ市民層に定着の兆しを見せ始めているイベントでもある。

残間実行委員長(食・みどり・水を守る道南地区労農市民会議議長・連合渡島地域協議会副会長)の挨拶で幕が切って落とされた食と環境まつりは、開始前から多くの来場者が訪れていたが、販売開始の合図とともににお



に入りのブースに殺到。事前準備に余念がなかったブーススタッフも必死で対応を行っていた。

人気ブースの筆頭はやはり道南地区農民連盟ブースの「朝採り野菜の格安販売」で、消費税のアップによる家計への負担と諸物価の高騰を受け止めた主婦の努力が垣間見られるようでもあった。屋台の定番「焼き鳥」「焼きそば」「たこ焼き」の人気も高く、ブースの前には行列ができるほどの盛況ぶりでもあった。

環境ブースも多彩なメニューで臨み、支援米活動パネル展では、受け入れ先のマリ共和国の最新写真を紹介して「世界の飢餓」で苦しむ人々への理解を求め、水資源を扱ったブースではパネル展の他にも、函館の水の試飲会や道内の様々なペットボトルが紹介され、理科実験教室では様々な変化を学んだり、木の葉を使った万華鏡づくり、トランジスタラジオ作りも好評を博していた。

環境課題をテーマとし、簡単な課題からしっかりと受け止めてもらうことを目的としたスタンプラリーには多くの子供たちが参加し、親と一緒に回ったり、友達同士で回って問題を解き、7個のスタンプをゲットして事務局が準備をした景品と交換をしていた。

今回の環境課題では国際的に大きな課題となっているプラスチックごみ問題について、みんなで考え合う入り口としての位置づけを行い、可能な限り実践を行っていくことを実行委員会で確認しあったことを受け、食のブースで使用するトレーや容器を「紙」に替える取り組みを行った。

例年ならば、時間帯によって来場者の波が変化をし



ていたが、今年の場合には開会前から閉会直前まで、来場者が途切れることなく訪れていたのも大きな特徴であった。

14時、手塚・副実行委員長(道南地区農民連盟委員長)の閉会の挨拶が行われ、最後に3JAと農民連盟の提供に

よる「新米抽選会」が行われ、いつもながら悲喜こもごもの模様がみられ、記念すべき第10回食と環境まつりを終えることとなった。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=4302>

# あなたの夢を応援します

## 「返還義務なし」奨学金

経済的理由で高校進学をあきらめる中学生がいます。北教組は、そんな子どもたちの進学を応援するために、返還義務のない「奨学金」給付を実施します。

進学時の負担を軽減する奨学金です

高校などに進学希望の中学3年生が対象  
3月に10万円支給 返還義務はありません  
募集人数200名 申請期間 2019年11月20日～  
2019年12月20日

子どもと教職員の応援団

**北教組**

北海道教職員組合(ほっきょうそ)

奨学金にかかわるお問い合わせは  
電話 011-561-8289

詳しくはコチラ▶



### 11月の主な動き

- 6日(水)10:00  
春季生活闘争中央討論集会／東京・Hラングウッド
- 6日(水)18:00  
道内食材評価の学習会・試食会／  
ポールスター札幌
- 12日(火)10:00  
地方連合会事務局長会議／東京・全電通ホール
- 21日(木)13:30  
中央執行委員会／連合会館
- 27日(水)10:15  
第2回執行委員会／連合北海道会議室
- 27日(水)13:30  
労働福祉対策特別委員会／札幌ガーデンパレス

- 27日(水)15:30  
第1回地協事務局長会議／  
札幌ガーデンパレス

### 各地協定期総会

- 16日(土)13:00  
網走地協定期総会／北見市
- 16日(土)13:30  
日高地協定期総会／新ひだか町
- 23日(土)13:30  
空知地協定期総会／岩見沢市
- 23日(土)15:30  
檜山地協定期総会／江差町

- 29日(金)14:00  
公共職業訓練関連労組連絡会／  
ポリテクセンター

- 24日(日)13:00  
渡島地協定期総会／函館市
- 27日(水)13:30  
石狩地協定期総会／札幌市
- 29日(金)14:00  
胆振地協定期総会／登別市
- 30日(土)13:00  
十勝地協定期総会／帯広市
- 30日(土)13:30  
後志地協定期総会／倶知安町

### イベントカレンダー